


## 農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	共同獣医学科・教授・古市 達哉	
紹介する研究シーズ名	新規水頭症モデル動物： <i>ihy</i> マウス	
キーワード	水頭症、モデル動物、原因遺伝子	

### シーズの「売り」は！！

- ・ 新規の水頭症発症マウスを同定
- ・ 水頭症の新規原因遺伝子の同定、新たな予防・治療薬の開発につながる事が期待できる。

岩手大学の実験動物飼養保管施設で維持していたマウスのコロニーで、体が有意に小さく、頭部が膨隆し、生後 4～7 週で死亡するマウスが散発的に同定された。剖検の結果、脳脊髄液の貯留による大脳皮質の圧迫が認められ(下写真参照)、水頭症の病態を呈していることがわかった。この水頭症は単一遺伝子の変異が原因であり、常染色体劣性の遺伝形式をとることが明らかとなった。この新規水頭症マウスを *ihy* マウス (*ihy* は iwate hydrocephalus の略、hydrocephalus は水頭症の意味) と命名し、系統の樹立に成功した。



### 【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

創薬、疾患モデル動物

関連特許・関連資料等	なし
------------	----